

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：介護予防のための住民参加型口腔機能向上事業 ～口腔機能低下への気づきと支援～ 高齢者が高齢者を支える活動を通して</p>
<p>2. 申請者名：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所</p>
<p>3. 実施組織：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所、一般社団法人沖縄県歯科医師会 宮古島市福祉部高齢者支援課</p>
<p>4. 事業の概要： 高齢化が進展する中、介護予防や認知症予防を目指して高齢者が口腔機能の低下に気づき改善につなげるための口腔機能向上システムを開発し、2012 年より沖縄県宮古島の住民を対象に実施、認知機能低下抑制に貢献できる可能性を確認した。その後、住民より本システムを広げる活動をしたとの希望が出た。そこで 2015 年より 8020 財団の歯科保健活動助成を受け、初年度は住民が住民に広げるための手帳を作成・5 カ月間の活動効果を評価してその効果を確認した。さらに 2016 年は宮古島全体へ広げるためのツールとして簡便な小冊子を開発・評価した結果、口腔機能は高まるが、男性の参加者が少ないこと、特定の住民に限局されていることが課題となった。そこで住民や行政と話し合った結果、3 年目の今回は男性を含む多数の高齢者が自宅で実施可能なケーブル TV を活用したお口元気プログラムを開発、お口元気活動の新たな展開の場として、市が推進しているサロンにて評価を試みた。</p>
<p>5. 事業の内容： 1) 自宅で実施可能なケーブル TV を活用したお口元気プログラムの開発 （株）第一興商の多大なる協力を得て、宮古島のケーブル TV にてパタカラ体操「ウサギとカメラ、どんぐりころころ、桃太郎、花笠音頭」を朝晩 1 曲ずつ 1 日 2 回放映した。また、住民からのさらなる希望により、宮古民謡「なりやまあやぐ」も追加放映した。 2) 宮古島市全体への本事業の展開 ケーブル TV のパタカラ体操が始まる前に「パタカラ体操を行う意義」および体操後に「お口の機能が気になる方は高齢者支援課へ」と呼びかけを行い、今年度は宮古島市高齢者支援課が推進しているサロンの活動の中で推進・評価を行った。</p>
<p>6. 事業後の評価（今後の課題）： 宮古島のケーブル TV を活用して宮古島市全体への展開を推進したが、実際にケーブル TV でパタカラ体操を実施している住民全員の調査を行うことは難しく、サロンの活動を通して初回と 3 か月後の両方に参加した住民 38 名（男性 5 名、女性 33 名）より評価した。サロン参加者の口腔機能やフレイルの改善は認められたものの、ケーブル TV の評価法が課題となった。活動評価の一指標として、2012 年度からスタートしたお口元気活動を通して介護保険料のワースト順位が改善してきていることから、今回、介護認定率を全国と比較した結果、2013 年度より宮古島の介護認定率が徐々に低下しており、全国平均との差が縮まって来た。</p>

